

人 チーム 制度

趣味と実益を兼ねて働く

株式会社ウエスコ 待寺 彩香さん

今回ご紹介するのは(株)ウエスコで河川計画の仕事に携わる待寺彩香さん。2022年2月に転職され、現在、河川計画や防災関連の業務を担当されています。

プロフィール

氏名 : 待寺彩香 (26)
 所属 : 関西支社 技術部
 河川防災課
 勤続年数 : 9カ月
 (コンサル歴は7年)
 居住地 : 大阪市
 主な業務 : 河川計画、防災関連など

これまでの経歴を簡単に教えてください。

中学卒業までは石川県の田舎で育ち、高校進学とともに意図せず土木の世界に足を踏み入れました。理数が科目の中で一番嫌いでしたが、容赦なく水理・土質・構造力学などが襲い掛かってきて「なんで苦手なのに勉強しているんだ…」と思いながら、気が付けば就職で念願の大阪に来て、建設コンサルという業界で合計約7年働いています。

社会人になって数年、河川だけではなく防災(避難計画や防災マップの作成)にも携わるうちに、もっと防災関連の仕事もしてみたいと思いはじめ、(株)ウエスコで今後同様の分野へ新規取り組みを行っていくことを聞き、2022年2月から同社に勤務しています。

仕事においてやりがいを感じることや、一番楽しいことについて教えてください。

気が付けば若手枠に入れて貰えない経験年数になってきていますが、まだ上司に教えて貰う事が沢山あり、日々勉強をしています。しかし当初に比べ発注者とのやり取りもスムーズになり、何度か経験した同種業務であれば検討内容の追加提案なども少しずつできるようになってきていて、発注者からOKが貰えるときにとてもやりがいを感じます。



発注者協議前の資料作りは毎度大変ではありますが、仕事を通じて行ったことの無い土地に行き、美味しい地方飯を食べ、現地調査を通じてその地域の魅力を知ることができるのはとても楽しいです。

(2022年10月現在)

入社前後で建設コンサルタントの仕事に対する印象は変わりましたか？

石川高専の環境都市工学科という土木系の学科にいたにも関わらず、就職活動をするまで建設コンサルタントという業種を知りませんでした。前職の会社へ学生インターンに行きましたが、その動機も大阪に行けるから、というかなり不純なものでした。しかし実際行ってみると高専で学んだことがフルで活かされており、技術者として働く方々がとても生き生きとされており、私もこの業界で働きたいと思ういい機会になりました。



想像していたよりも大変な業界というのが本音ですが、働き方改革もあり就業環境もよくなってきており、やりがいを感じながら日々仕事をしています。地域の方々を支える”黒子”という意識で毎日楽しく仕事をしています。

プライベートで楽しいことについて教えてください。

24歳ごろまでは夏から秋にかけて邦楽ロックフェスに毎週末のように行き、週明け全身筋肉痛になりながら仕事という日々を送っていました。今は娘がいて頻繁には行けていませんが、シーズンに1、2回は参戦しています。また漫画を読むことが大好きで、北海道を舞台にしたある漫画にはまってしまい、ちょうど転職する1か月前の有給消化の際に聖地巡礼と称して一人で北海道旅行に行きました。前職でウポポイのある仕事に携わっていたのですが、そこにも足を運び聖地巡礼と実際自分がやった仕事が活かされているという達成感の相乗効果でとても楽しい旅でした。小さい子がいるので遠くまで気軽に旅行に行くことは難しくなりましたが、これからは娘と一緒にいっぱい出かけて遊びたいです。



最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？



専門的な知識は勿論必要になるかと思いますが、私はそれ以上に積極性と対人スキルが求められる仕事だと思っています。自分の意見を相手に伝えることは難しいですが、この仕事を通じて自分自身成長できているなど感じています。

プライベートを充実させることで、最高の仕事ができると思うので、仕事に100%にならず適度に息抜きをして、また出張で北海道に行けるように(笑)、これからも頑張ります。